

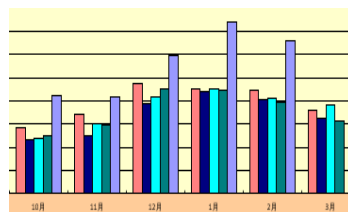
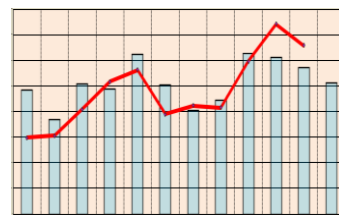


2022年3月9日

青柳工業株式会社

環境会議

本年度の環境目標も、エコキャップ、廃棄物削減案、美化活動それに環境教育ビデオ収録も達成または達成の見込みがついて、残るは、電気使用量目標が達成できるか否かにかかっています。右上のグラフを見てください。水色の棒グラフは、目標を示し、赤い折れ線グラフが実績を示しています。12月までは、ほぼ目標の範囲内でしたが1月以降、急激に目標を上回るようになり、2月も月次目標を達成することが出来ませんでした。右下のグラフは、年度別の使用量です。緑が2020年、水色が2019年、紫が今年のグラフです。Nサイトが追加されたので、昨年より増加すると想定していましたが、突出して増えてしまいました。目標達成のため、もう一度周囲も見渡し余計な電気が使われていないかなど、節電対策よろしくをお願いします。



環境教育ビデオ完成間近です

前回、水戸八景の説明で好評を博した、環境教育ビデオの第二回目を編集途中で、いよいよ完成間近となりました。今回のテーマは「弘道館」です。ご存じのように、弘道館は旧県庁、茨城県立図書館の後ろ側にある、歴史建造物です。江戸時代、水戸藩の藩校(今の大学のようなもの)で、水戸藩九代藩主徳川斉昭公が建てられました。特徴的なことは、卒業がなく、学びたいだけ学べる場所です。ただ、かなり難しい入学試験があったようです。武術関連の学科もあり、こちらは自由に入れたようです。残念ながら明治維新の混乱で、多くを消失してしまいました。今回は、その根底にあるものを探ります。



こみっとフェスティバル無事終了しました

乞ふご期待!!

2月19日(土)、20日(日)イオンモール水戸内原店のメインコートを使用して、今年も、水戸市内でボランティア活動をしている約50団体が集まり、「こみっとフェスティバル」を開催しました。私たちが支援している団体や、茨城大学の学生さんたちが、ボランティア活動の説明や展示、発表などを行ない多くの市民が来場されました。「こみっと」とは、英語のコミット(貫き通すこと)と水戸をもじった造語、水戸でボランティアをする団体間協力会の愛称です。コロナ感染防止の観点から、ビデオなどを使用して説明を行う対策を講じました。以前とは違ったやり方で苦労しましたが、盛況のうちに無事終了しました。



気象変動の緩和について 第11回「一人一人の心がけが大切」

一年にわたり、気候変動の緩和について説明してきました。最後のまとめとして、私たちに何ができるのか考えてみました。地球規模で起こる自然現象を、個人の力で解決することは絶対無理だと思います。でも、人間が環境を変えてしまったことも事実です。そうした問題を生活の中に置き換えて、最低限、プラスチックごみを平気でポイ捨てしたり、分別もしないで、何でも消却してしまうことだけはやめましょう。豊かさだけ追及しても、その反動があることを忘れないでください。

最高責任者のコメント ～ 2021年度活動を振り返って ～

本年度の目標は、電気使用量が達成できるか心配だが、それ以外は順調に推移している。組立工場の新規空調設備入れ替えは、社会状況の影響で大幅に遅れ、次年度にずれ込む見込み。導入できるまでの間、節電協力願う。人数の多い部署に二酸化炭素濃度計を設置してみた。人間の活動が環境に与える影響を確認してほしい。緊急連絡網は緊急情報以外に紙資源節約のためにも活用できると評価した。様々な活動に活かせるよう検討のこと。美化活動は、実施方法が改善され、環境教育ビデオも、知識の習得に効果があると評価する。



今月の環境目標進捗状況

今月の環境目標は、引き続き電気使用量未達成で累計で何とか達成しました。



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量削減(kwh)	28,628	32,889	×	281,358	265,788	106%	↑
一般廃棄物減量(件数)	1	1	(達)	6	6	100%	(達)
エコキャップ回収(個数)	891	1,000	(達)	12,599	13,293	106%	↑
美化活動実施(回数)	—	—	—	2	2	100%	(達)
環境教育実行(回数)	—	—	—	1	1	100%	↑